

○「学生生活実態調査」・「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」における、学生の声に対する大学の対応状況(平成23年12月14日時点)

1. 両調査共通の多数意見

NO	区分	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	グループ(担当)
1-1	教育	教職及び教育実習に関する要望 ・教育実習の費用への経済的援助 ・実習先の選択(附属以外の学校へ行きたい)等	教職関連業務については、教室、教育学部及びその他関係学部と連携し対応しております。今後、関係部署と連携し各課題に対応していきます。	教育企画G 教育学研究科学生支援G
1-2	教育	教養教育パッケージ科目の制度の改善	パッケージ別科目は、複数の授業を有機的に関連付けながら知識の持つ真の意味や広がりを実感し、人類や社会が抱える歴史的・現代的な課題を理解することを目標として提供しています。この趣旨を具体化するために、定期的にパッケージ毎の授業担当教員連絡会を開催し、同一パッケージでの授業科目間の連携強化を図り、授業の充実に努めています。	教養教育本部支援G
1-3	学生生活	ハラスメントに関すること ・ハラスメントを目撃した、受けた 等	もみじTop、学生生活の手引きでハラスメント相談室の連絡先を案内しています。ハラスメント相談の支援体制についても案内していますので、該当する場合はご相談ください。	学生生活支援G(学活)
1-4	福利厚生	食堂・学食の改善 ・混雑の改善 ・メニューへの要望 ・料金を安くしてほしい 等	大学と生協とで定期懇談会を開催しますので、その際に皆さんからの要望を伝えて、改善策等について協議します。(12月開催予定)	学生生活支援G(学活)
1-5	施設	図書館への要望 ・図書館の開館時間の延長 等	広島大学図書館では、学生の皆様のご要望にお応えしながら開館時間の延長を行ってきました。例えば、開館時刻を早める(8:45→8:30,平16)、閉館時刻を遅くする(21:00→22:00,平19)、試験期間中の開館時間を延長する(霞図書館、平21)など行ってきました。このような時間延長は、まずは試行として実施し、利用状況や効果を評価した後で、正式運用となってきているものです。これからも皆様のご要望や利用状況を考慮して、可能な限り時間延長に努めたいと考えています。 また、図書館の通常閉館時刻については、利用者の皆様の安全な帰宅を図るために、公共交通機関の最終運転時刻に基づき設定しています。とりわけ図書館の施設・設備は、24時間開館のための安全かつ経済的な構造ではありませんので、夜間は閉館する運営としていた点にもご理解願います。 さらに、試験期を除き毎月定例整理日(中央図書館の場合は第4木曜日)を設け、閉館にして書庫や書架の調整作業を全館的に行っています。このことについては年間の開館スケジュールで予めお知らせをし定期的に案内をして、利用者の皆様にはご理解を頂いているところですが、定期整理日でも利用できるように、半日閉館や作業中閉館等の実施可能性について、今年度検討し可能であれば試行したいと考えています。	図書学術情報企画G
1-6	施設	体育施設・課外活動施設への要望 ・サークル棟の増築、改修 ・グラウンドへの要望 ・体育館への要望 ・霞キャンパスの課外活動施設(テニスコート等)への要望 等	課外活動・福利施設等については、要望をまとめ緊急度の高いものから順次整備しています。 また、霞キャンパスと東千田キャンパスの状況については、12月までに状況を確認し、対応を検討します。 ただ、キャンパスも広く多くの設備があり教職員でも把握していない不具合・不備もあると思いますので、気づいた点や要望がありましたら、学生生活支援グループまでご連絡ください。	学生生活支援G(学活)
1-7	学生生活	就職活動に対するサポート体制の充実 ・交通費等の経済的な支援 ・相談員の増員 等	現在も学生の需要に応じて、相談員の人数調整や時間調整を実施し対応しておりますが、継続して今年度中に相談件数等の実情を把握し相談体制について検討します。 また、急な相談依頼については、他の予約や相談員との調整等も難しく相談を受け付けることができないこともあるため、企業面接等の日程が決まっている場合は、早めに相談予約をお願いします。	キャリアセンター
1-8	施設	霞キャンパスの学生スペースの充実	現状で学生スペースを新たに確保することは非常に難しいため、霞地区各部署の工夫により以下のように対応しています。 ・医学部基礎講義棟1階・基礎社会・医学棟1・2階にソファ・テーブル等を設置し、ラウンジスペースを確保している。また、自習等のためにチューリアル室を解放している。 ・歯学部1・2階に机椅子を設置しフリースペースとして提供している。ミーティングや自習等のためにチューリアル室を複数貸出している。 ・薬学棟1Fにラウンジを設けフリースペースとして学生に提供している。	医歯薬学総合研究科等学生支援G 学生生活支援G(学活)
1-9	施設	駐車場への要望 ・増設、近くに住んでいても利用できるようにしてほしい 等	東広島キャンパスの駐車場の利用率は、北・東地区は高く、西・南地区は低い状況にあるため、第1に検討すべきは、キャンパス内の既存駐車場の有効活用です。よって、まずは、「部局別の指定駐車場の設定」等による運用面の改善により、要望に応えていきたいと考えています。	施設企画G

2-1. 「学生生活実態調査」での多数意見

NO	区分	学生からの意見・要望	学生向け掲載文(案)	グループ(担当)
2-1	教育 学生生活	学生支援室の開室時間の延長	夜間に授業がある場合など、各部署の事情に応じて対応しています。一例として、霞キャンパスの大学院窓口については、夜間でも授業があることから、21時30分まで別途職員を配置し不測の事態に備えています。また、開室時間以外での質問等も容易となるよう、学生生活の手引き及びもみじTopの窓口一覧に各窓口の連絡先として電話番号やメールアドレスに加えQRコードの記載について来年度生が入学するまでに対応します。	教育支援グループ(総務)
2-2	学生生活	アルバイトの紹介への要望 ・大学紹介に戻してほしい 等	今年度中にPA(フェニックスアシスタント)等のキャリアセンターで紹介しているアルバイトと、家庭教師など生協で紹介しているアルバイトについての周知方法を改善します。	キャリアセンター
2-3	施設	駐輪場の拡張、整備	駐輪場については、平成20年度から増設・上屋の設置を行い改善を進めています。今後も、駐輪場の利用状況を適切に確認し、必要に応じて改善を行います。 ただし、駐輪場の改善は、交通計画としてキャンパス整備計画全体の中で検討することが必要であり、建物の拡張スペースや美観、安全性を踏まえる必要があるため、必ずしも皆さんの要望に十分に答えられないこともありますので、既設の駐輪場の効率的利用についてご協力をお願いします。	施設企画G 学生生活支援G(学活)
2-4	施設	西条駅から大学までのバスへの要望 ・増便してほしい ・料金を安くしてほしい 等	【バスの増便に関して】 本年7月27日に、JRバス(東広島支店)と芸陽バスに対して以下の2点の要望を出しており、両バス会社から前向きに検討するとの回答をいただいておりますが、現時点では正式な回答が届いておりません。 (1)西条駅から広島大学へノンストップ運転しているバスについて、時間帯によっては、各駅停車又は快速便(江熊又は中央図書館前のみ停車)とすることを要望する。 (2)特に混雑する4月から7月について、8時頃の便を現状より増便することを要望する。コスト的に困難な場合は、増便により発生する費用を大学が一部負担することも、バス会社から要望があれば検討する。なお、両バス会社との4度にわたる交渉の中で、次のようなことが明らかになりました。 ・この東広島キャンパスに広島大学が移転して以来、両バス会社が協力して積残をしないように増便してきたこと。 ・広島大学への便宜を図るため、西条駅から東広島キャンパスまでの直通バスを運行しているが、直通バスが満席になると、同時に発車する各駅停車のバスに乗り込んで座ろうとする傾向があること。このため、特に雨天の日には、江熊又は中央図書館前のバス停において積み残しが生じることがあること。 ・後期(10月)に入ると、バスを利用する学生が減少すること。 【運賃の値下げに関して】 JRバス(東広島支店)と芸陽バスに交渉しましたが、東広島キャンパス周辺を統一料金にしていることや両バス会社が運行している他路線との関係から難しいとの回答でした。	総務G
2-5	学生生活	喫煙についての要望 ・分煙強化 ・喫煙所の整備 ・歩きタバコ禁止 等	現在、完全分煙を前提とした受動喫煙防止対策を策定し、その具体的内容(基本的考え方・喫煙所設置場所)については、学生の皆さんにご理解頂けるよう「もみじ」に掲載しております。 要望にあります「分煙」「屋外喫煙所」「喫煙マナー」については、この受動喫煙防止対策に盛り込まれておりますのでご参照ください。 なお、喫煙所の設置については、11月末までに一部を除き(霞田地:1月完成予定)完成しております。	リスクマネジメントG

2-6	教育	平和教育への要望、意見 ・平和レポート以外の教育 ・「ヒロシマ」のことをもっと学びたい ・大学全体で平和について考える機会を設ける ・継続した平和学習 等	教養教育については、平成23年度入学生から平和科目群を開設し、全学選択必修化し内容を充実させました。また、大学院課程についても、「平和構築についての英語での授業」の来年度開講に向け検討を進めています。	教養教育本部支援G 教育企画G(教育推進)
2-7	教育 学生生活 もみじ	もみじの機能への要望 ・携帯からもみじを見られるようにしてほしい。携帯への転送 ・もみじのタイムアウトをなくす、又は、長くして欲しい ・もみじをエンターでログインできるようにしてほしい 等	【携帯電話へのもみじ掲載内容の通知】 平成22年度12月から休講・補講・教室変更情報だけでなく、個人掲示や授業掲示の投稿があった旨のお知らせをアカウントメールに対してメール配信しています。掲示内容は「Myもみじ」もしくは「もみじMOBILE」にログインして確認していただくことが大学のルールですので、内容の送信は実施する予定は今後ともありません。なお、アカウントメールに送信されたお知らせの携帯電話への転送設定は、情報メディア教育研究センターのHPで行うことができます。 また、携帯電話の一部機種ではメール文に記載されたURL表示がうまく読み込めないことがありますので、携帯電話に「もみじMOBILE」をブックマークしておくことをお勧めします。 【セッションタイムアウト】 セッションタイムアウトを設けている理由は、サーバーの負荷軽減のためにログイン数の管理を的確に行い、かつ利用者がログオンしたまま長時間PCから離れた場合の第三者による不正使用を防止するためです。Myもみじの画面にはタイムアウトまでの時間が表示されていますので、アンケート入力で時間がかかりそうな場合は、「一時保存」等の一定の操作を実施し、タイムアウトの時間の更新を行ってください。 【エンターキーでのログイン】 もみじTopの同一のHtmlファイル上に複数のフォーム(ログインと検索)が存在するため、Enterキーではどの機能に対するコマンドかを特定できず、そのためボタンをクリックしていただく運用としています。	教育支援G(教育情報)
2-8	学生生活	学生のマナー・モラル低下について	平成23年度から全学的に、学部・研究科の入学ガイダンスや教養教育等において規範教育を実施しており、学生生活を送るうえでどのように行動すべきかについて考え、規範意識(マナー・モラル)の向上を図っています。	学生生活支援G(学活)
2-9	施設	印刷無料の要望	プリンタ印刷費の有料化は、 ・プリンタ出力に対する適正な印刷コスト感覚の醸成、 ・不要な印刷の抑制による省資源意識の啓発、 ・プリンタ出力を目的としたパスワードの貸し借りの撲滅 等を目的に、平成21年7月に決定し、平成22年9月から実施しました。 有料化に伴い、放置印刷物の激減、パスワードのセキュリティ確保等、導入の効果はあがっています。一方、学生の皆さんには、経済的負担をお願いすることになりましたが、実際にかかる印刷費の一部は大学が負担し、学生の皆さんへの負担軽減も考慮した運用としています。 今後も、上記目的達成及び学生の皆さんへの負担とのバランスを考慮しながら運用していきたいと考えています。	情報化推進G
2-10	学生生活	奨学金制度の充実	現在、学内外に多くの奨学金制度があり、大学独自の奨学金も、年々充実を図っていています。学内各奨学金制度をもみじTop等で紹介及び案内しています。また、奨学金についてもっと詳しいことを知りたい場合や、わからないことがあれば、学生生活支援グループの奨学金担当にお尋ねください。	学生生活支援G(経済)

2-2. 「学生生活実態調査」における「ベストメッセージ賞」・「グッドメッセージ賞」に選出された意見

NO	区分	学生からの意見・要望	掲載文(案)	グループ(担当)
2-11	学生生活	「ちょっと気になること」を大学に伝える場所を作してほしい。 もみじに学生が投稿できる掲示板を作してほしい。	各学部・研究科の学生支援窓口等に意見箱が設置されていますので、活用してください。 また、意見箱のWEB版として、もみじTopに、なんでも相談員が送付先となる「気になること」「大学への要望」「なんでも相談」受付スペースを設けることを検討中です。	学生生活支援G(なんでも相談員) 各局学生支援G
2-12	学生生活 もみじ	もみじに拾得物の一覧(検索機能付き)を設ける。	もみじにより拾得物の情報を検索し閲覧できる機能については、今年度中に検討を完了します。 なお、拾得物の取り扱いについては、全学的な規則等を整備することが法的に難しい面(遺失物法を考慮する必要)もあります。現状として学部・研究科によっては若干対応が異なることがあります。全学的な取り扱いについては今後も引き続き検討します。	学生生活支援G(学活)
2-13	教育	時間割作りに役立てるため、シラバスや学生便覧を入学前の春休み中に閲覧できるようにする。	入学前にシラバスが参照可能となるように対応策を検討します。併せて入学生の手引き等の中に、「3月〇日から学生シラバス(見える場所を記載)が確認可能なので・・・」の文章を入れて入学予定の学生に案内します。また、学生便覧や、教養の指定時間割等、どの情報を入学前に公開すべきかの検討も併せて行います。(2月までに検討完了)	教育企画(教務・学籍) 教養教育本部支援G 入試G

3. 「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」での多数意見

NO	区分	学生からの意見・要望	学生向け掲載文(案)	グループ(担当)
3-1	教育 もみじ	単位修得状況確認についての要望	もみじに単位修得状況機能(シミュレート機能)は有していますが、各局局により利用状況が異なります。システムでの結果はあくまで参考のために利用し、最終的な卒業・修了の可否については、必ず確定成績と学生便覧等を参照し、学生自身の責任で確認することになります。また、部局によっては、卒業要件等が複雑なためもみじでのシステム対応が難しく、窓口で個別に対応していることもありますので、質問・疑問があれば所属の学生支援窓口にご相談ください。	教育支援G(教育情報) 各局学生支援G
3-2	教育	英語教育の改善・強化	授業については皆さんからのアンケート等も活用し随時改善しております。ただし、英語学習においては自学自習が極めて重要です。現在、外国語教育研究センターHP等において、多くの英語学習コンテンツを用意していますが、もみじTopから容易にアクセスできない状況にあります。次年度までには、英語学習コンテンツへ容易にアクセスできるように改善しますので、コンテンツを授業と組み合わせる有効にご活用ください。	外国語教育研究センター